

親族への優先提供について

1. 親族に臓器の優先提供を認める規定（平成 22 年 1 月 17 日施行）

（親族への優先提供の意思表示）

第 6 条の 2 移植術に使用されるための臓器を死亡した後に提供する意思を
書面により表示している者又は表示しようとする者は、その意思
の表示に併せて、親族に対し当該臓器を優先的に提供する意思を
書面により表示することができる。

2. 「臓器の移植に関する法律の一部を改正する法律」国会会議録抜粋
（親族優先提供の範囲に関する部分）

○平成 21 年 5 月 27 日衆議院厚生労働委員会 河野太郎議員（提案者）

（略）いわば命の受け渡しをした親子、あるいは配偶者といった家族の中で、
（略）。

ガイドラインで、親子及び配偶者に限り、事前にそうした方がレシピエン
ト登録をされている場合、そしてドナーになる方が書面でその意思を明確にし
ている場合に限り、親子及び配偶者に対しては親族の優先提供を認めること
いうことで、かなり厳しい枠をはめて、その中に限り優先提供をこれは心情を考
えて認める。（略）

○平成 21 年 7 月 7 日参議院厚生労働委員会 山内康一議員（提案者）

（略）移植手術を受ける順位については、血液型などが適合するか、医学的
に緊急度が高いかなど臓器ごとの詳細な条件に照らして決められており、公正
かつ適切に行われているものと認識をしております。この配分先の決定に当た
っては、純粋に医学的なデータだけに基づいてコンピューターで自動的に優先
順位が決められる、そういう体制になっているというふうに聞いております。
したがいまして、本当に数値や医学的な情報だけで決められていますので、恣
意が入り込む余地というのは今の体制ではございません。

A 案におきましては、親族への優先提供の意思表示の規定を設けることとし
ておりますが、この場合におきましても、その意思表示を踏まえた上で、最終
的には血液型が適応するかなどの条件に照らし合わせて順位が判定されること
になると想定しており、決して順位の判定が恣意的に行われることはないと認
識しております。（略）